

岩木山弥生地区自然体験型拠点施設建設設計画中止よかったね！

# 弥生スキー場跡地を未来への贈り物に！ 活用法を考える住民集会

相馬市長は6月議会で、前市長が弥生地区に計画していた自然体験型拠点施設建設設計画の中止方針を打ち出しました。税金の無駄遣いが避けられて本当に良かったですね。これからは、この残された土地の活用方法が課題となります。無謀な開発計画により荒らされた負の遺産を未来への贈り物にするためにどうするか、ここが住民の知恵の出どころ。多くの皆さんの参加をお願いします。

とき：2006年10月28日(土)13:30～15:30

ところ：青森県武道館会議室

パネルディスカッションと意見交換

「弥生スキー場跡地をどうするか」

パネラー予定者

自然保護の立場から

市民・くらしの立場から

現地住民の立場から

行政の立場から

フロアからの活  
発な意見をお願  
いします

弥生ネットは、弥生スキー場跡地が今どうなっているか、実際にこの目で確かめようと、8月と9月に現地の自然観察会を実施しました。観察会には市民約50名が参加し、回復途上にある現地の植物の様子や、伐採されていない隣接地との植生の違いを観察しました。中央に流れている沢からニホンザリガニを発見する、という貴重な体験もありました。ニホンザリガニは清流にすむ日本固有種で青森県レッドデータブックの重要希少野生生物(Bランク)に位置づけられています。こうした貴重な自然を保護しながら、この跡地をどうするか、みんなで知恵を出し合おうではありませんか。



主催：弥生スキー場跡地問題を考える市民ネットワーク  
連絡先：0172-35-8933（竹浪気付）

構成団体：弘前市民オンブズパーソン、コープあおもり弘前地域理事会、岩木山を考える会、市民が主人公のみんなの会  
津軽保健生協環境文化委員会、弘前市を考える会